

2016年度
帰国予定（6ヶ月以内）技能実習生による
技能実習評価調査結果報告

公益財団法人 国際研修協力機構
JITCO

帰国予定（6ヶ月以内）技能実習生による技能実習評価調査 結果報告

今般、外国人技能実習・研修制度により入国している技能実習生（以下「技能実習生」という。）のうち、6ヶ月以内に帰国予定の者に対し、技能等の修得の状況についてアンケート調査を行った。

1. 概要

(1) アンケート調査の期間及び手法について

本アンケート調査の期間は、2016年4月から2016年12月までの9ヶ月間であった。

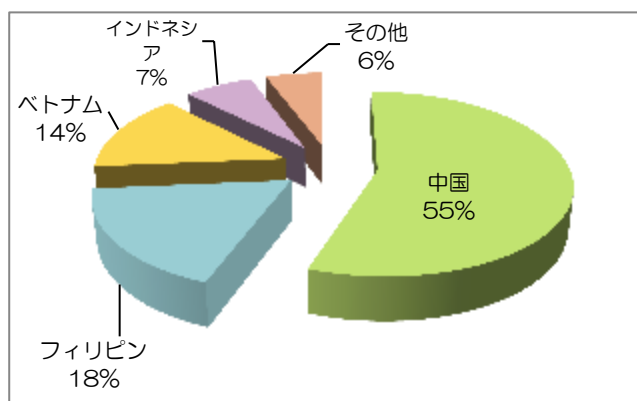
本アンケート調査の手法としては、6ヶ月以内に技能実習を終了し帰国する予定の技能実習生に対して、JITCO 地方駐在事務所の職員が実習実施機関に対する巡回指導を行った際に直接アンケートに記入を求める等をして1,034名から回答を得た。

(2) 調査対象の属性について

- ① 「国別構成」をみると、中国の技能実習生からの回答数が575名（55.6%）と圧倒的に多く、続いてフィリピン186名（18.0%）、ベトナム144名（13.9%）、インドネシア70名（6.8%）の順となっている。
- ② 「業種別構成」をみると、繊維・衣服関係の技能実習生からの回答数が314名（30.4%）と最も多く、続いて農業関係181名（17.5%）、機械・金属関係178名（17.2%）、食品製造関係85名（8.2%）の順となっている。
- ③ 「性別構成」をみると、女性の技能実習生は637名（61.6%）で、女性の回答者が多い結果となった。
- ④ 「年齢別構成」をみると、「30歳以上」の回答数が409名（39.6%）と最も多く、次に「25歳から29歳以下」が408名（39.5%）、「24歳以下」が195名（18.9%）であった。20歳代が6割程度を占める結果となった。回答者の平均年齢は、29歳であった。
- ⑤ 「実習期間構成」をみると、9割以上の回答者が3年間の技能実習生であった。

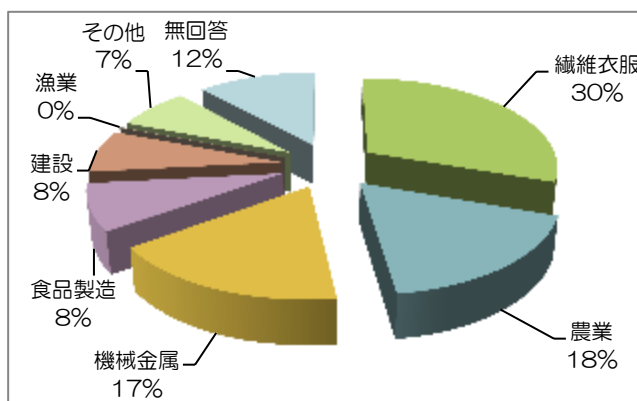
<①国別構成>

国名	回答数	構成比
中国	575	55.6%
フィリピン	186	18.0%
ベトナム	144	13.9%
インドネシア	70	6.8%
その他	59	5.7%
計	1,034	



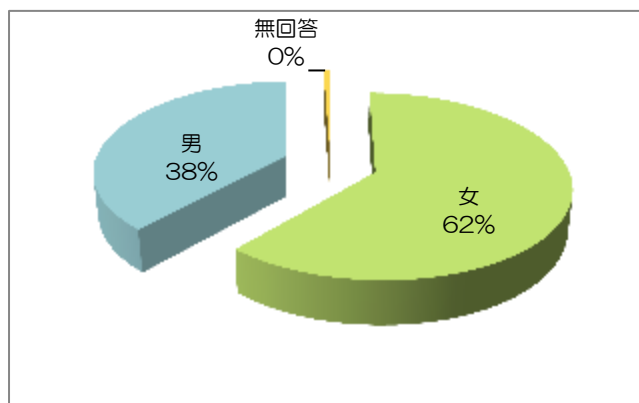
<②業種別構成>

職種	回答数	構成比
繊維衣服	314	30.4%
農業	181	17.5%
機械金属	178	17.2%
食品製造	85	8.2%
建設	78	7.5%
漁業	1	0.1%
その他	76	7.4%
無回答	121	11.7%
計	1,034	



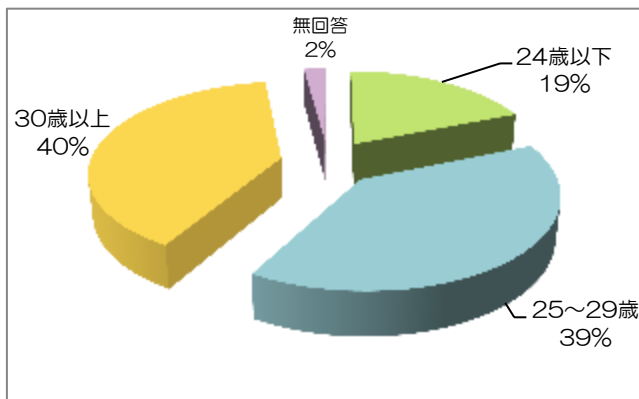
<③性別構成>

性別	回答数	構成比
女	637	61.6%
男	391	37.8%
無回答	6	0.6%
計	1,034	



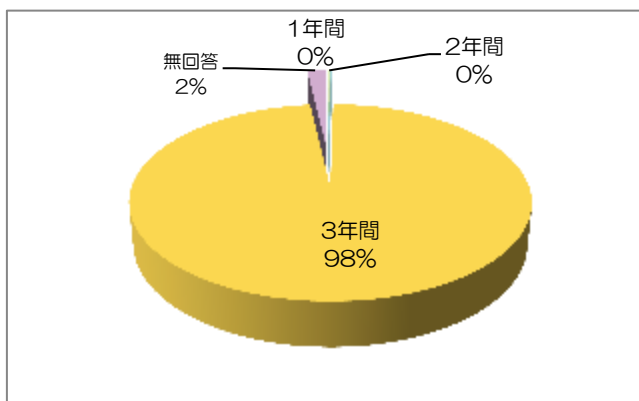
<④年齢別構成>

年齢	回答数	構成比
24歳以下	195	18.9%
25～29歳	408	39.5%
30歳以上	409	39.6%
無回答	22	2.1%
計	1,034	



<⑤実習期間別構成>

期間	回答数	構成比
1年間	1	0.1%
2年間	2	0.2%
3年間	1,012	97.9%
無回答	19	1.8%
計	1,034	



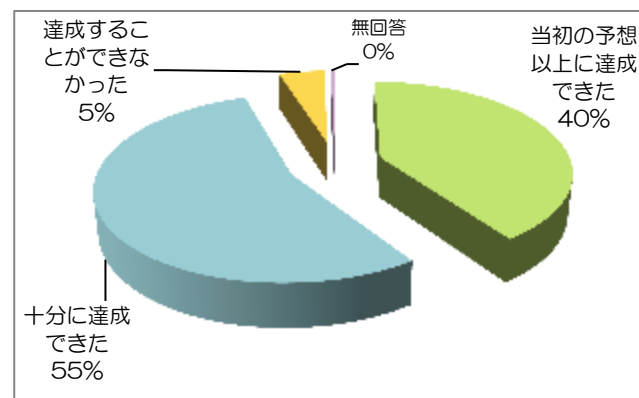
2. 技能実習の目標達成

技能実習における目標の達成度合については、「当初の予定以上に達成できた」と回答した技能実習生は417名（40.3%）、「十分に達成できた」と回答した者が566名（54.7%）であり、合わせて983名（95.0%）の者が目標を達成できたと回答している。

「達成することができなかった」と回答した47名（4.5%）について、「技能実習は自分の役に立ちましたか」という質問への回答をみると、「とても役立つ」または「役立つ」と回答しているものが合わせて42名であった。

<全体目標達成度>

項目	回答数	構成比
当初の予定以上に達成できた	417	40.3%
十分に達成できた	566	54.7%
達成することができなかった	47	4.5%
無回答	4	0.4%
計	1,034	



3. 技能実習の実効性と帰国後の就業予定について

技能実習内容が、自分に役立ったかどうかについては、「とても役立った」と回答した実習生は 523 名 (50.6%)、「役立った」と回答した者は 489 名 (47.3%) であり、合わせて 1,012 名(97.9%)の者が技能実習が役に立ったと回答している。

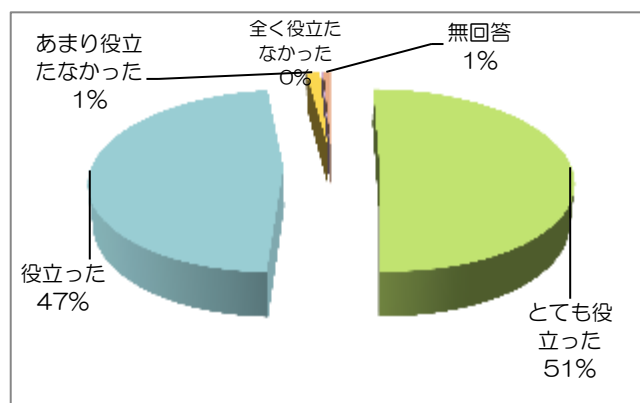
さらに、「とても役立った」又は「役立った」と回答した実習生に、役に立った内容を選択させたところ（複数回答）、「日本での生活経験」、「修得した技能」、「仕事に対する意識」、「日本で貯めたお金」、「日本人との交流」、「職場の規律」、「日本語能力の修得」などが役に立ったと回答した実習生が多かった。

続いて、帰国後の就業予定について、「働く会社が決まっている」と回答した実習生は 241 名(23.3%)と 2 割強で、「仕事を探す予定である」と答えた実習生が 453 名(43.8%)と最も多かった。「働く会社が決まっている」以外を選択した実習生に、働く会社が決まっていない理由を回答させたところ（複数回答）、「しばらく休む」の回答が 236 名、次に「働く予定の会社よりより良い条件で働きたい」の回答が 193 名と多く、技能実習の経験を通して母国でのキャリアアップを望んでいる実習生が多いことが窺えた。

最後に、帰国後の就業職種について、「実習内容と同じ仕事をする予定がある」と回答した実習生が 377 名(36.5%)と最も多く、「予定はないが実習内容と同じ仕事をしたい」171 名(16.5%)、「実習内容と関連する仕事をする予定がある」116 名(11.2%)を併せると全体の 6 割程度の実習生が、帰国後も実習内容と同様の仕事に就き実習で得た経験を生かすつもりでいることが示された。

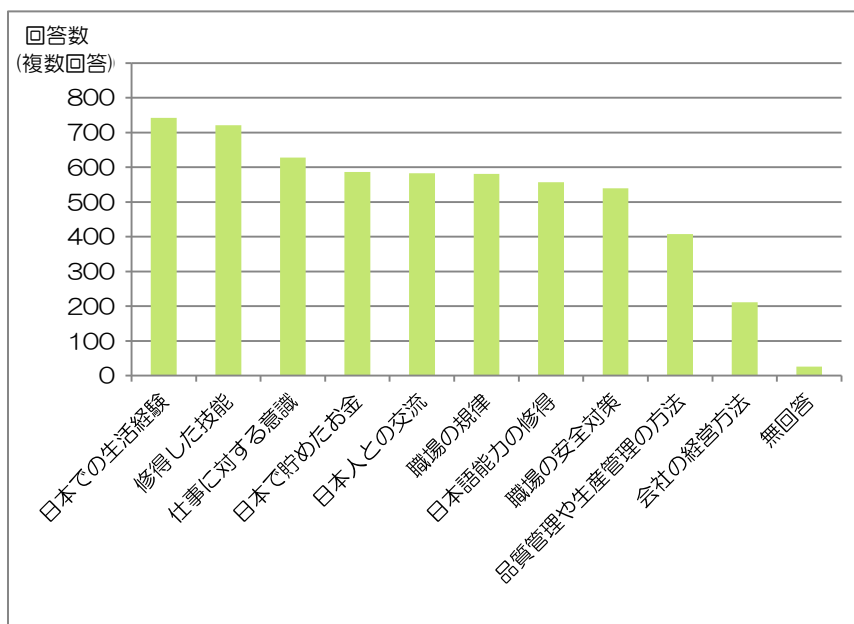
<技能実習の有効性>

項目	回答数	構成比
とても役立った	523	50.6%
役立った	489	47.3%
あまり役立たなかった	14	1.4%
全く役立たなかった	1	0.1%
無回答	7	0.7%
計	1,034	



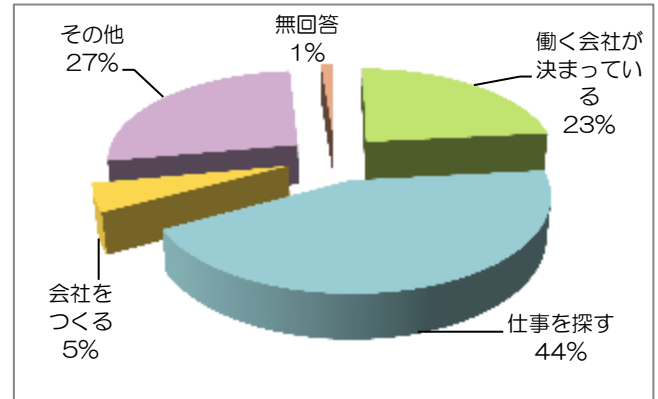
<役に立った内容>

項目	回答数
日本での生活経験	742
修得した技能	721
仕事に対する意識	628
日本で貯めたお金	586
日本人との交流	583
職場の規律	581
日本語能力の修得	557
職場の安全対策	539
品質管理や生産管理の方法	408
会社の経営方法	211
無回答	26



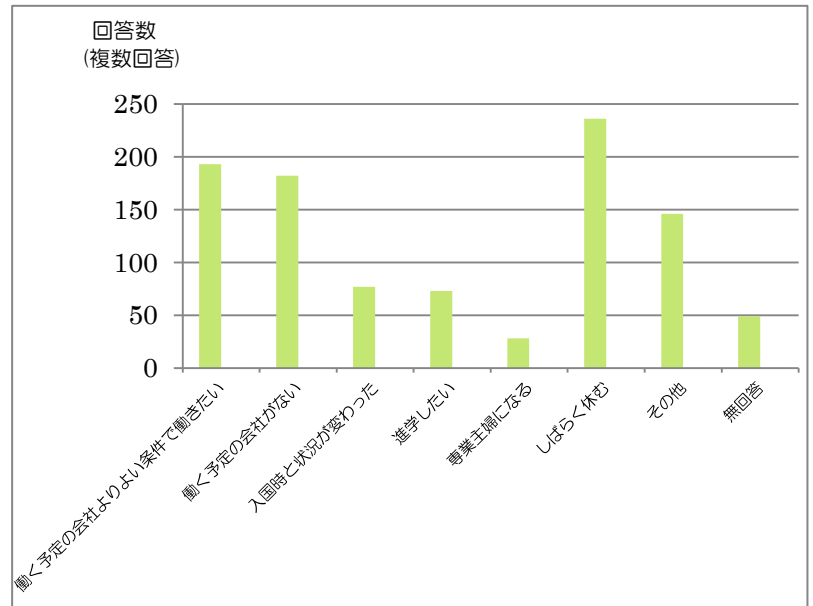
<帰国後の予定>

項目	回答数	構成比
働く会社が決まっている	241	23.3%
仕事を探す予定である	453	43.8%
会社を作る予定である	51	4.9%
その他の予定である	276	26.7%
無回答	13	1.3%
計	1,034	



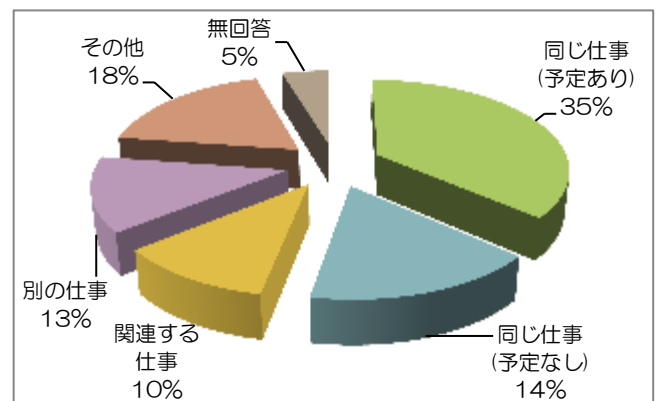
<働く会社が決まっていない理由>

項目	回答数
働く予定の会社より良い条件で働きたい	193
働く予定の会社がない	182
入国時と状況が変わった	77
進学したい	73
専業主婦になる	28
しばらく休む	236
その他	146
無回答	49



<帰国後の職種>

項目	回答数	構成比
実習内容と同じ仕事をする予定がある	377	36.5%
予定はないが実習内容と同じ仕事をしたい	171	16.5%
実習内容と関連する仕事をする予定がある	116	11.2%
実習内容とは別の仕事をする予定がある	136	13.2%
その他	186	18.0%
無回答	48	4.6%
計	1,034	



4. まとめ

今回のアンケート調査は、帰国直前の技能実習生が、技能実習での技能等の修得に関し、高い目標達成感を持ち、技能実習に高い評価を示していることを示すものとなった。